

vol. 7

季刊 わ
2001 January

福岡の文化と芸術

FUKUOKA ARTS &
CULTURAL INFORMATION

wa

○ 財団法人 福岡市文化芸術振興財団
Fukuoka City Foundation for Arts and Cultural Promotion



CONTENTS

**【特集】こどもたちとアート
ワークショップの可能性**



からだとこころを解き放て	2
「ティーンエイジの演劇ワークショップ」から	
落書きはこころとからだの解放だ！	6
こどものペインティングワークショップ	
表現する喜びを育むワークショップ	7
楽しみながら本格的なダンスのティストを体感する	
小学生のダンスワークショップ	
コピーさえとればなんでも版画にできちゃう！	
ペーパー・リトグラフのワークショップ	
インタビュー／藤原恵洋さん	8
一人の天才を育てるのでなく、 相互触発による高め合い、 支え合いによって生まれるものにこそ価値がある。	
トピックス	9
[インタビューズ]	10
美術作家　東野よう子	
ギンギラ太陽'S 主宰　大塚ムネト	
アート入門	
「ジャズ入門 Invitation to JAZZ」	12
福岡市博物館／常設展	14
日本初、19世紀に刊行された メルカトル図法の世界地図	
「万国興地方全図」	
福岡市美術館／常設展	15
異次元空間への出入口。 ドラえもんの“どこでもドア”	
「空間概念」ルチオ・フォンタナ	
福岡アジア美術館	16
アジアアートの4つの小宇宙 第2回アーティスト・イン・レジデンスの成果展	
シェイクスピア、そして、アジア。 固定概念からの解放劇「ディスティモーナ」	18
インタビュー／演出家　オン・ケンセンさん	
[FFACサロン]	20
○当財團の主催行事	



上／京劇「EXTRAVAGANZA」

下／オランダフィルハーモニー
オーケストラ

ナナ・ムスクーリ

グロリア・スカルキ
オペラ「チェネレントーラ」



Dedemedia

多言語・多文化の舞台芸術

「ディスティモーナ」

オン・ケンセンが構成・演出する「ディスティモーナ」は、シェイクスピアの原作を題材に、劇作家岸田理生が脚本を書いたアジアの新しい舞台芸術であり、オン・ケンセンによって組織されたアジア8か国のアーティストによる多言語・多文化プロジェクトでもある。

1997年に福岡でも公演された「リア」(オン・ケンセン演出、岸田理生脚本)で試みられた、アジア各地のアーティストによる多言語演劇の延長にある作品といつていいだろう。「ディスティモーナ」では、複数の言語とビジュアルアーティストの映像、インドの古典劇、ミャンマーの操り人形、韓国の伝統歌謡パンソリなどが交錯する舞台芸術がくり広げられる。

ディスティモーナ役にマレーシアのコンテンポラリーパフォーマー、クレア・ウォン、男女二人で演じるオセロ役には、インド古典劇クディヤッタムの役者、マドゥ・マルギと、インドのカタカリの役者で現代劇の女優であるマヤ・ラオが選ばれた。

「ディスティモーナ」は現代のアジアのアイデンティティとは何かを問いかける

「オセロ」の原作は、舞台は15世紀末のキプロス。ムーア人の総督オセロが、白人の美女デステモーナを妻にするが、部下の策謀によって、オセロはテスモーナが不倫をしていると思いこみ絞め殺してしまう。やがて、ディスティモーナの無実が明らかになり、オセロは自殺するというストーリーである。もともと、オン・ケンセンは、この人種、文化の異なるもの同士の結婚をストーリーの中心にすえた「オセロ」を自分自身の問題意識のもとに再構築したい、と考えていた。「ディスティモーナ」では、シェイクスピアの原作のような典型的な悲劇を演出するのではなく、異文化、異民族、性差などに焦点をあてながら「現代のアジアの人々の対話」を描こうとしている。オン・ケンセンによると、インターネット・コミュニケーションの時代に、アジアの人々自らのアイデンティティを見つけるために、互いにどう対話していくかということを「ディスティモーナ」で問題提起しているのだという。

福岡アジア美術館の展示室での

ミュージアムバージョン

3月の福岡での「ディスティモーナ」公演は、福岡アジア美術館の大展示室で行われ、通常の舞台公演とは違う構成と空間演出が大きな見どころとなっている。オン・ケンセン自身「特別なチャレンジ」と語っているが、彼は1999年、福岡アジア美術館を訪れ、「ディスティモーナ」のパフォーマンスには、福岡アジア美術館が最適だと考えた。アジアの現代美術が福岡アジア美術館に集まるように、アジアのパフォーミングアートが「ディスティモーナ」で出会ったのだと。劇場公演のように観客が常に演じる側と同時進行の時間を共有するのではなく、ギャラリーでは、いくつかの場面で同時進行的にパフォーマンスも演じられるだろうとオン・ケンセンは語っている。

また、公演だけではなく、「ディスティモーナ」のアーティストと市民との交流の場を、ワークショップという形で設ける予定だ。

■「ディスティモーナ」出演者の紹介

マシュー・シグイ（シンガポール／オーストラリア）
映像／インスタレーション作家。欧米の現代美術界でも高く評価されており、今回の公演でも貴重な役割を果たしている。

パク・ファ・ウン（韓国）
インストラーション／映像作家。ニューヨーク、ソウルを中心に活動。最近はビデオやアニメーションの分野にも活動の幅を広げている。

ジャン・ジエ・ヒヨ（韓国）
韓国の伝統音楽サムルノリに現代的な要素を加えた人気バーカッショングループ「ブリ」のメンバー。韓国の伝統音楽の演奏からパンソリの歌唱までこなす。

マドゥ・マルギ（インド）
1500年の歴史を持つインドのサンスクリット語劇「クディヤッタム」の代表的役者。

クレア・ウォン（マレーシア）
アジアの伝統的な舞踊形式を身につけた現代演劇のパフォーマー。ニューヨークを拠点に欧米でも活躍。

ロウ・キーホン（シンガポール）
バレエ、モダンダンス、パリダンス、舞踏を修得した現代演劇のパフォーマー兼社会学者。オン・ケンセンの作品にも多数出演。

マルティヌス・ミロト（インドネシア）
振付家、舞踏家。ジャワの古典舞踏からコンテンポラリーまでこなし、国内外から注目を集めている。日本を含む海外公演実績多数。

シン・チャン・ユル（韓国）
韓国宮廷音楽からシャーマン音楽、フォーク音楽など幅広くこなし、最近では、若手アーティストのコンサート企画や演出など制作者としても活躍。
クー・ザウ・ミン（ミャンマー）
ミャンマーの古的な操り人形を使った、マリオネットダンスの第一人者。人形を操るだけでなく、演者自身がミャンマー人（人形）に扮する踊りは必見。

シェイクスピア、そして、アジア。 固定概念からの解放劇

「ディスティモーナ」日本初公演

◎インタビュー／演出家 オン・ケンセンさん

「ディスディモーナ」は、現代のアジアに問いかける。

現代アジアの文化を重層的に表現する舞台芸術「ディスディモーナ」。その公演準備のためにオン・ケンセンさんが福岡市を訪れた際に「ディスディモーナ」の見どころについてうかがった。

オン・ケンセン（王 優生）

/シンガポール

1963年シンガポール生まれ。

シンガポールの英語劇団シアターウークス藝術監督。1992年、

「スリーチルドレン」ミュージ

カル「ピューティー・ワールド」

日本公演。1994年、アジアの

アーティストによる異文化交流

プロジェクト「フライング・サーカス・プロジェクト」

を組織。1997年、国際交流基金アジアセンター制作「リ

ア」構成・演出、東南アジア、ヨーロッパで公演。



——まず、1997年の「リア」公演ではどんな成果を得られましたか。

オン：「リア」は、ヨーロッパ、オーストラリアを含む大規模な公演となりました。多言語の演劇という試みを多くは懐疑的に見ていましたが、作品を見た人々は興味を持ち、能、京劇、ガムラン、タイの舞踊、現代舞踊といったアジアの多様な文化の再構築が可能なことを理解しました。

特にヨーロッパでは、お決まりのパターンといってもいい伝統的アジアのイメージではなく、多文化的な状況、現代アートとしてアジアの文化が受け入れられたのだろうと考えています。

——「リア」がシンデレラとすれば、「ディスディモーナ」は、その醜い姉妹”とオンさんは書かれていますが、「リア」と「ディスディモーナ」の関係をもう少し詳しく教えて下さい。

オン：「リア」と「ディスディモーナ」は、昼と夜、光と影の関係にあります。「ディスディモーナ」は、男と女、オセロとデステモーナ、人種、植民地支配と被支配などめぐみ合う矛盾をテーマに現代アジアとはなんだろうかという問い合わせをしています。「リア」がアジアの多様な芸術を再構築し、ある種の調和や統一感が生まれたとすれば、「ディスディモーナ」のテーマは、破壊的な演出、挑戦的な演出を必要とするのです。ちょうど、大島渚監督の作品のような……。

理解できない言葉が飛び交うから、とつづきにくいという印象を受けることがあるかもしれません。しかし、観劇した人の印象を聞くと、「ディスディモーナ」は、価値観や考え方じっくりと影響を与えていくものだと実感しています。また、今回の「ディスディモーナ」は美術館の展示室で行う開放的な演出で、たんに観劇というよりも、「ディスディモーナ」というプロジェクトのプロセスに参加していくというイメージに近いのです。

——「ディスディモーナ」では、オセロが男女二人の役者によって演じられます。どんな意味があるのでしょうか。

オン：ドイツ公演では不評でした（笑）。なぜオセロが二人もいるのだと。シェイクスピアのオリジナルのオセロは、ジェラシーによって妻を殺してしまいます。つまり、精神と肉体のアンバランスによって事が引き起こされるわけです。私の演出の場合は、女性が演じるオセロは精神的側面、男性が肉体的な側面を表しています。「ディスディモーナ」がテーマにしている、さまざまな対立や矛盾と同様に、オセロ自身の内面での精神と肉体のせめぎ合の矛盾を表現しているのです。

——2000年の5月にニューヨークで演出したオペラにもオセロのような登場人物がいるそうですが。

オン：「銀河」というタイトルで、西洋のオペラの様式と京劇の様式の組み合わせたような構成です。ベースになっているのは、その原作は中国にありますが、日本でいう七夕祭りの織姫と彦星の物語です。そこでは織姫の役はふたり。一人は舞踊家、一人は琵琶奏者なんです。これは、典型的なケンセン・スタイルかもしれません。

——最後に、「ディスディモーナ」は観客に、どんなことを期待していますか。

オン：「ディスディモーナ」は現代のアジアのアイデンティティとは何かを問いかけるものです。その問いかけに対して、「考える」ことを期待しています。「考える」ために、まず「ディスディモーナ」を楽しんでほしいのです。





デ

ジ

タ

ル

新しい情報技術を駆使して、
地域の経済発展と文化の向上に
貢献します。

コンピュータの普及と通信技術の進展で、情報分野でのデジタル化は、私たちの想像をはるかに上回るスピードで進んでいます。現在の印刷産業は、紙に出力するだけでなく、電子的に加工し、新しい情報メディアに出力することも要請される時代になっています。

福博総合印刷株式会社は、印刷から学んだ技術を活かし、情報技術の革新に全力を尽くしてまいりました。さらに、「デジタルハリウッド福岡校」をサポートする「九州インターメディア研究所」の出資企業として、デジタル産業の活性化とクリエーターの育成にも積極的に取り組んでおります。

一人ひとりが発光体



福博総合印刷株式会社

〒812-8639 福岡市博多区堅粕3丁目16番36号 TEL:092-451-2989 FAX:092-482-6902
●新宮工場 〒811-0112 福岡県糟屋郡新宮町大学下路字長津町57 TEL:092-962-3511 FAX:092-962-3688
●東京支社 〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目10番5号三幸ビル3F TEL:03-3542-1931 FAX:03-3542-1952
URL : <http://www.fsp.co.jp>